

平成30年度
昨今の教育に関する事項の取組状況

- 1 高大連携施策について
- 2 キャリア教育推進施策について

【地域活力推進課】

高大連携施策について

○大学等魅力づくり支援事業

・本県では、大学進学者の8割以上が県外大学へ進学しており、一方で、県出身者が県内進学した場合、約8割が県内就職している現状を踏まえ、高大連携をはじめとする「魅力ある大学づくり」に向けた取組みへの支援を行っている。

(1) 香川県若者県内定着促進支援補助金

県内大学等が高校等と連携し、若者の県内定着促進を図る取組みに対して支援を行う。

【取組みの具体例】

- ①高校における出前講座や県内大学等における体験学習や模擬授業等
- ②高校生を対象とするコンテスト形式のイベントの開催 など

(2) 大学等魅力づくり支援

県と県内大学等により設立した「大学コンソーシアム香川」が実施する県内大学等の情報発信や県内高校との連携強化への支援などを行う。

【平成30年度大学コンソーシアム香川の主な実施事業】

①広報活動（新聞広告）

・主として、高校生や保護者、高校教員等を対象に、県内大学等の紹介やオープンキャンパスの日程、県の「魅力ある大学づくり」への支援についての広告記事を新聞に掲載する。

②広報活動（情報提供事業）

・新聞に掲載した広告記事をポスター（1, 100枚）、チラシ（15, 000枚）とし、県内高校へ配布。チラシの裏面を活用し、県の施策やコンソーシアムの活動について情報発信を行う。

③広報活動（情報提供スペース）

・希望する県内高校に専用の情報提供スペース（パンフレットスタンド）を設け、県内大学等が情報発信を行う。（平成28年度～：累計19校設置済）

④広報活動（出前講座等の情報提供）

・県内大学等が実施している出前講座等の情報を集約し、県内高校に配布・周知を行う。

⑤県内大学等合同進学説明会

・希望する県内高校において全ての県内大学・短期大学による合同進学説明会を開催する。（平成30年度 説明会開催高校数 3校）

【高校教育課】

高大連携施策について(平成 30 年度の取組み)

○ 高校における県内大学との連携

各高校では、キャリア教育の一環として、県内大学の理解を深め、主体的な進路選択ができるよう、大学訪問や研究室訪問、高校での大学学部説明会を開催している。また、生徒向け講演会の講師や授業での指導、教員に対する現職教育の講師派遣など、さまざまな教育活動において県内大学の協力を仰いでいる。

【平成 29 年度 県内大学との連携】

	件数	人数
大学訪問	33	2,004
研究室訪問	2	6
大学学部説明会	49	3,387
生徒向け講演会	33	4,941
授業等の指導	37	3,170
教職員向け研修	8	275
その他	10	412
合 計	172	14,195

	件数	人数
香川大学	80	9,368
香川県立保健医療大学	27	2,157
徳島文理大学(香川校)	25	917
高松大学	20	966
四国学院大学	20	787
合 計	172	14,195

※ 坂出高校教育創造コースの取組み

坂出高校教育創造コースでは香川大学教育学部と連携して、将来本県教員のリーダーとなる人材を育成するための教育活動を行っている。

(主な取組み)

- 1 香川大学教育学部教員による出前授業、及び大学における講義の聴講
- 2 香川大学教育学部附属幼・小・中学校、及び特別支援学校での授業支援活動
- 3 大学教員(研究室)からのグループ研究への助言

○ グローバルリーダー育成事業における連携

香川県教育委員会と(一社)日本社会イノベーションセンター(J S I C)が共催したイノベーション教育プログラムであるT I S P2018 香川プログラム(8月5日～9日)の開催にあたり、その参加者(県内高校生26名)に対する事前ワークショップを香川大学創造工学部造形・メディアデザインコースと連携し実施。

6月10日 「ロジカル思考を鍛えよう」 山中隆史先生

7月28日 「アイデアの発散と収束の方法、プレゼンテーションの手法」 柴田悠基先生

● 高大連携による高校生対象体験授業 【香川大学主催】

県内の高校生に対して、大学の高度な教育・研究に触れる機会を提供し、学ぶ意欲や主体的な進路選択ができるよう、香川大学の公開授業や体験授業の受講できるようにしている。

○ 香川大学と香川県教育委員会との懇談会

香川大学と県教育委員会双方の諸課題の解決に向け、両者が連携を図りながら施策を推進するため、学長や教育長その他幹部で構成する懇談会を設け(平成29年10月)、定期的(年2回程度)に意見交換を行っている。

〔協議テーマ〕教員養成、教職大学院、大学入試、教育政策立案 等

【労働政策課】

キャリア教育推進施策について

高校生や大学生等が、自身の将来を考える際に県内就職が選択肢の一つとなるよう、県内企業の紹介など、高校や大学での授業における「キャリア教育」を推進している。
(平成 27 年度～)

キャリアデザイン教育出前授業(高校生対象)

高校生が、働き方の基礎知識や地元就職の利点や県内企業の魅力を学ぶことで、将来の選択肢として、正規雇用での地元就職が意識づけられるよう、外部講師による出前授業を行っている。

[授業の構成]

- ① 教材冊子を活用した講義
- ② 生徒代表(4名)による寸劇
- ③ グループディスカッションの実施及び結果の発表
- ④ 働く先輩の動画を上映
- ⑤ ①～④に基づいて総括



[平成 29 年度実績]

8校33クラス実施(飯山高校、観音寺総合高校、英明高校、津田高校、高松桜井高校、高瀬高校、丸亀城西高校、善通寺第一高校)

香川大学での単位認定型の特別設計講義(大学生対象)

大学生が、自らのキャリアについて能動的に考える契機となるよう、さまざまな職業分野から、地域で活躍する職業人をゲスト講師として招き、「職業事例講話」を実施することにより、学生の視野・見識を広げ、県内就職を含めた将来のキャリアの選択肢を増やすことを目的として設計した、「キャリア教育特別設計講義」を、香川大学と連携して実施している。

[平成 30 年度実績]

- ・各クォーター全8回：オリエンテーション、講義6回、まとめ
- ・開設日：第1、第2クォーター 月曜5時限目
- ・参加学生数(履修登録者数)：第1Q199人、第2Q40人)



【高校教育課】

キャリア教育推進施策について(平成30年度の取組み)

キャリア教育の充実に関する事項

○ 香川県次代の担い手育成コンソーシアム

コンソーシアム委員（香川県経営者協会、香川県商工会連合会、香川県中小企業団体中央会等）や企業等関係者が高校2校を訪問し、授業や施設の見学、キャリア教育担当者との意見交換会を実施する。コンソーシアム委員や企業等関係者から各校の取組について指導助言を受け、高校におけるキャリア教育の改善・充実を図る。（H26～職業学科、H29～普通科を対象に実施）

○ インターンシップの実施

全ての県立高校（29校）において実施（平成29年度実績 29校、3,003人、791社）

○ プロを講師とした授業

教科・科目等の授業において、優れた技術を持つプロを講師として招き、企業等で即戦力となる技術を身に付けさせるとともに、勤労観・職業観を育む。

○ 専門高校ヴィクトリープロジェクトの実施

産業教育に関する全国レベルのコンテストや研究発表等で全国優勝を目指す高校を選定し、県内専門高校（職業学科のある高校）を全国トップレベルに向上させ、生徒の自尊意識等を育む。

（H29 成果）高松工芸 高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会優勝

観音寺総合 高校生ロボット相撲全国大会優勝

○ 産業教育フェアの開催

専門高校等で職業教科を学ぶ生徒の学習成果を発表する場である「産業教育フェア」を開催し、専門教育に対する一般社会の関心を高め、生徒の学習意欲や職業観の高揚を図る。

（丸亀町壱番街前ドーム広場、高松シンボルタワー等 他で、平成30年11月17日(土)開催予定)

就職指導および職場定着指導に関する事項

○ ジョブ・サポート・ティーチャーの配置

9名を兼務方式で19校に配置し、高校において進路指導主事等と連携して次の業務等を行う。

①生徒の就職相談

②企業を訪問しての求人開拓や卒業生の職場定着指導

○ 教員等による企業訪問

新規求人開拓を行うため、進路指導主事・担任教員等が企業を訪問する。

○ 職場見学会の開催

生徒の企業や仕事内容に対する理解を深め、就職した後の定着率の向上に資するために職場見学会を開催する。（7月下旬～8月上旬）

○ 新規学卒者のための職場定着サポート

新規学卒者（卒業して1年以内）について、在校当時の担任教員や就職指導の担当者等が就職先を訪問し、状況把握を行うとともに悩みの相談を受けるなど、職場定着に向けたサポートを行い、早期離職防止を図る。

○ 職場定着促進セミナーの開催

卒業を目前にした就職内定者を対象に、企業経営者や卒業生などを講師に招いて、県内高校5会場で開催する。企業が求める人材、仕事のやりがいや苦労話などを通して職業意識の向上を図り、早期離職を防止する。

○ 香川労働局と協力した就職面談会の開催と、事前準備講習会の開催

応募機会の拡大を図り、就職未内定者の減少や、採用のミスマッチ等を解消するために就職面談会を開催する。また、就職面談会の前には、県教委主催で事前準備講習会を実施する。